

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	魚津市役所			代表者名	村椿 晃
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報広報課	連絡先電話番号	0765-23-1021
担当者役職	係長	担当者氏名	濱田 剛宏	連絡先E-mail	
住所	937-8555 富山県魚津市釈迦堂				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	魚津市DX推進計画推進事業		
概要	DX化という従来の業務手法とは全く異なる新しい業務手法を受け入れることに対する、職員の忌避感情を無くし、逆に前向きに取組もうとする意識を植え付けてほしい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）				

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	214K			
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年1月30日	講演(実地)	9時00分	16時20分	60
			活動時間（分）	380	
2-2.	会場名	魚津市役所	最寄駅	あいの風とやま鉄道 魚津駅	
派遣場所	所在地	富山県魚津市釈迦堂1-10-1	最寄駅からの交通手段	徒歩3分（約350m）	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・参加者26名にアンケートを実施し、「研修の満足度」を5段階（とても満足、満足、普通、不満、大変不満）で問うたところ、23名が「とても満足」、3名が「満足」という結果であった。 ・参加者から「満足」だった理由として、「新しいDXツールの利用を面倒と思わずに前向きに受け入れようとする気持ちがわいてきた」「実体験に基づいた話が自分にも応用できそうと感じた」、「学びをゲーム形式で体験させる手法が面白く身についた」、「理想論を現実落とし込む方法も話があってよかった」など、前向きなものばかりあがってきたため。
アドバイザーへの要望事項	・今回は「決裁者に対する提案の仕方」などどちらかと言えば非管理職向けの内容だったので、次回は管理職向けの「マネジメントの仕方」について講義をいただきたい

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	26人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	26			

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	「魚津市DX推進計画」を実行していくにあたり、職員の間にある「DXは、慣れ親しんだ従来のやり方から全く新しいやり方への変革を強いる疲労を増大させるもの」という抵抗感が課題であった。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	業務効率化と住民サービス向上を果たすため、多くの職員が従来のやり方にとらわれず、導入済みDXツールを活用し、新たな事業提案を行う姿を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、実践することの大切さ</li> <li>想いをカタチにするための、決裁者の承認を得る手段</li> <li>「無意識の思い込み」の自覚及びその悪影響</li> <li>より良い判断に繋がる企画書の作成方法 (効果分析表、5W1H)</li> <li>管理職と一般職の適切なあり方</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者26名のうち、25名が「仕事に対するやる気が前向きになった」と回答。「新規事業の提案を行いたい」という意見があった。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	これまで「提案力不足」や「後ろ向きな気持ち」から進まない面もあったDX化について、今後、新規提案に前向きな意見があったので、実現していきたい。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間にわたる内容の濃い研修のため、参加者にとっては非常に前向きな影響があった反面、参加できなかった職員にその内容を伝えきことは困難である。そのため、参加者と参加できなかった者に対する温度差を埋める方法は、現在模索中である。</li> </ul>	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	組織の状況をふまえ、適切なタイミングで各種支援策(地域情報化アドバイザー、窓口BPRアドバイザーなど)を実施し、さらなるDX推進を図る。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員の意識がDX推進に前向きになることで、全ての行政手続きのオンライン化を達成する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

